NEWS RELEASE

令和元年１１月１９日資料配布

国土交通省 神戸運輸監理部

海事振興部

神戸発展の歴史に港が深い関係
～船や港の大切さ･役割を出前授業で～

神戸運輸監理部は小中学生を対象に「海」や「船」に関する理解を深め、海事分野の若年層の人材確保を目的に出前授業を実施しています。

１１月１２日と１４日に神戸市内の小学校において海の魅力と船の役割、そして、神戸港の大切さを伝える出前授業を行いました。

帆船「日本丸」の元船長が、四面を海に囲まれた島国日本では、原料や食料など様々な物資の輸送に船が使われ貿易量の 99.6%を占めていることや、港が私たちの暮らしに重要な役割を担っていることなどについて、クイズを交えながら話しました。

子どもたちに貿易相手国上位はどこの国ですか？と聞くと、すかさず「1 位アメリカ、2 位中国！」と正解を答えられ、また、「ずーっと航海している船を錆びないようにするために、どんなことをしているの？」とのするどい質問もあったりして、子どもたちの学ぶ姿勢に関心させられました。

また、どうしても危険な地域を通って日本に原油を運ぶタンカーは、海賊対策で煌々と明かりをつけたり、放水したりしていることを話すと、「海賊がいるなんて知らなかった、大変なんだ」と、ふだん海に接する機会の少ない小学校の子供たちに、海や船の大切さや役割について考えてもらえるきっかけになったと思います。今度は実際に神戸港へ行って、「船乗りになりたい」「大きな船の船長になりたい」と、夢や希望が将来の職業としての自分の目指す道へと膨らんでいくことを期待しています。

画像左／岩岡小学校4年生116名（11月12日）

画像右／多聞南小学校4年生31名（11月14日）

講　師／両校とも鵜山　久（うやまひさし）

神戸運輸監理部海事振興部長

帆船「日本丸」元船長

神戸運輸監理部では、海事分野における若手人材の確保を目指し、神戸海事地域人材確保連携協議会や神戸地区内航船員確保対策協議会等と連携し、小中高校生対象の出前授業、施設見学会や海洋教室などに取り組んでいます。

今後の出前授業	１１月２９日（金）神戸市立北五葉小学校
（予定）	１２月　３日（火）神戸市立向洋小学校

配布先	問い合わせ先
神戸海運記者クラブ	神戸運輸監理部　海事振興部 担当：塚本　電話：078－321－3149（直通） 海や船が「楽しく身近な存在」になるための取組み。 C to Sea プロジェクト　ポータルサイト「海ココ」→